

平成30年度版 多忙化改善計画

笛吹高等学校

No	項目	現状と課題	H31年度に目指すべき状態	①H30年度に実施する内容 ②H31年度に向けて検討する内容
1	会議等の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議における議題及び連絡報告事項が多いため、場合によっては、時間外勤務になる傾向がある。 ・H29年度からは、職員会議における報告・連絡事項について、資料説明の有無を明確し、時間の短縮を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議時間を設定し、効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料は、前日までに配付し、必ず一読してから会議に参加する。 ・議題等の提案は、簡潔に要点のみとする。 ・職員会議における報告・連絡事項について、資料説明の有無を明確し、時間の短縮を図る。 ・終了時間を設定する。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・メールやグレープウェア等を活用した連絡の伝達及び会議時間の縮減
2	学校行事の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は、教育目標の達成のためにも生徒の成長のためにも重要であるが、一方で教員にとって負担が大きい。 ・H29年度に行事の精選を行い、1年次のスキー教室を廃止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に基づき、精選された学校行事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・各行事の必要性や教育的効果を再検討する。 ・行事ごとの業務をマニュアルにわかりやすく整備することで、次年度へ正確に引き継ぐ。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の精選
3	校内組織の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会等の数が多く、主任クラスの教員の会議の回数が増えている。 ・H29年度には、各種委員会の開催について、統合して実施できるように規定の改定を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌・委員会等の業務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・組織・運営方法の見直しを図る。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・分掌・委員会の業務や体制の改善
4	業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教員は、教科指導や部活動指導のほか、各種事務処理、放課後の生徒からの質問への対応、保護者への対応など突発事項への対応もあり、時間外勤務となってしまうことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に完全閉校日を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・残業が必要な教員一人一人に対して、個別に申し出をしてしてもらい、何となく残業をするという雰囲気や断ち切る。 ・定時退校日を設定し、徹底を図る。(年間24回) ・各教員が出勤・退勤時間を記録し、時間を意識する中で業務への集中と効率化を促す。 ・業務引き継ぎ資料をわかりやすく作成することで、後任の負担を軽減させる。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の完全閉校日の設定 (H31年度から8月中に土日を含めた3日間で実施)
5	部活動の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率が高く、各部の各種大会での目標設定や生徒たちの要求水準も高いため、練習の量や質もかなりのものが求められる。 ・上位大会に進出する部活動も多いため、大会の参加日数なども多くなる傾向にある。 ・指導や引率に当たる教員の時間外勤務など、負担が大きくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活動方針に基づき、効率的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・部顧問を複数配置し、協力体制を構築することで一人の負担を軽減する。 ・部活動生徒の完全下校時間を徹底する。 ・週2回以上の部活動休業日を設定する。 ・土曜・日曜日については、原則として休養日をいずれか1日以上設定する。 ・外部コーチを効果的に活用する。 ・部活動におけるマイクロバス業務の代行を推進し、教員の負担軽減を図る。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活動方針
6	地域人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の中で、笛吹市役所や県立博物館等の職員に協力を依頼している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材活用による地域との連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・行事・授業・部活動等への地域人材を活用する。 ・登校指導など、地域の方や保護者等に依頼する。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・行事・授業・部活動等への地域人材の更なる活用